



視点

夏期セミナー東海大会 in 静岡には ワクワクドキドキがいっぱい

旅と性教協全国夏期セミナー（以下夏期セミナー）は相性が良いものだと思います。両者には出会いがあり、発見があり、学びがあり、感動があります。夏期セミナーにおいて旅は本来の目的のオプションと思われるかもしれませんが、でも対等なセットで夏期セミナーなのだと私は思っています。なぜなら確信を持って性教育を進めていく上でも、包括的性教育を広めるためにも、開催地が魅力的であることとそこでの出会いは必須だからです。

旅にはワクワクだけでなく、一抹の心細さがつきものです。夏期セミナーも同様に多くのワクワクがありますが、同時にそれぞれの場所に持ち帰った時、夏期セミナーで得たものを発揮できるのか心配になるものです。そこで出会いの場が力を発揮してくれます。夏期セミナーで聞いた講演や模擬授業などの意見や感想を会場近くにひしめくお腹が幸せになるお店でぶつけ合ってみましょう。あるいは、性教育を進める上で職場において障壁になっていることなどあれば相談できる場になるかもしれません。全国にこんなに志を共有できる仲間がいると実感することで心細さは吹き飛びエネルギーが充填されるでしょう。初日の夏期セミナー終了後は各サークル単位などで交流会があるでしょうから、そちらにも積極的に参加してみてください。

夏期セミナーと旅との関係を再確認したところで、具体的に静岡市清水区の魅力を探ってみましょう。まずは本要項を飾った三保の松原です。富士山を望む景勝地としては日本平も見逃せないところです。そこからロープウェイに乗り込み、絶景を楽しみながら国宝久能山東照宮というのは定番コースです。清水港をクルーズするのもいいですね。エスパ

ルスドリームプラザへ赴けば昭和を体験できる「清水すしミュージアム」「ちびまる子ちゃんワールド」ほか「すし横丁」「遊園地」が併設され大人も子どもも楽しめます。その他各種博物館、グルメなど枚挙に遑がありません。さらに幸か不幸か？夏期セミナー日程（8月3日～4日）と同時期に「清水みなと祭り」が開催されます。出店の他、4日には花火大会もあるそうですから、宿泊先は早めに確保した方が良いでしょう。

こんな下調べは私に言われなくてもみなさん当然のようにやってらっしゃることでしょう。ただ、そちらばかりを楽しみ過ぎて夏期セミナー本体を忘れてしまわないか心配です。大久保さんの記念講演は今焦点を当てられている性暴力の加害者、被害者への取材を通して現代社会の闇に鋭く迫る内容です。理論講座の堀川さん、シンポジウムの河合さん、宮本さんのお話からは目から鱗の情報や価値観を発見することでしょう。また二日目の模擬授業・分科会は昨年よりさらに2講座増えたので、みなさんにフィットした講座がきっと見つかるはずです。このように夏期セミナー本体も負けずに魅力的であることは言うまでもありません。景勝と歴史文化と性教育の坩堝を肴に、仲間との交流を体感できる全国夏期セミナー東海大会in静岡に参加すればワクワクドキドキはとまりません。



榎原 宏一

(性教協全国夏期セミナー
東海大会in静岡 実行委員長)